

岩淵町まちづくりニュースは岩淵町でのまちづくりについて、広くお知らせするため、岩淵町のみなさまに全戸配布しています。

かっぱ広場のリニューアル検討が始まりました

9月7日(水)に岩淵小学校体育館にて「岩淵町まちづくり協議会第四回定例会」が開催されました。かっぱ広場についてのワークショップを行い、リニューアルに向けて参加者が様々な意見を交わしました。



定例会当日の様子

〈第四回定例会の内容〉

- スケジュール・前回の振り返り
- かっぱ広場の整備について
- ワークショップ
- 防災プログラムの内容について
- 次回からの検討の進め方



現在のかっぱ広場

岩淵町のまちづくりの内容は北区のHPからもご覧頂けます。<https://www.city.kita.tokyo.jp/machisuishin/machidukuri/iwabuchi.html>

岩淵町 まちづくり

検索

ワークショップの主な意見を 紹介します！

A班：チーム名「未定」

- かつば広場の規模やロケーションを考慮すると、多くの人が集まったりレクリエーションをしたりすることは想定しにくい。
- あくまでも防災広場としての利用が優先で、活用するにしても休憩所のようなイメージだと思う。
- 小学生に上がる前の幼児とその親がメインユーザーになると思う。小学生以上が遊ぶ場所としては狭い。
- ママ友たちや子どもたちが集まったり、ちょっとした休憩ができたりするような広場になるとよい。
- 週末は移動販売車が乗り入れてきて、地域の人が魚や野菜などの生鮮食品を買えるような広場になるとよい。



B班：チーム名「シン・イワブチ」

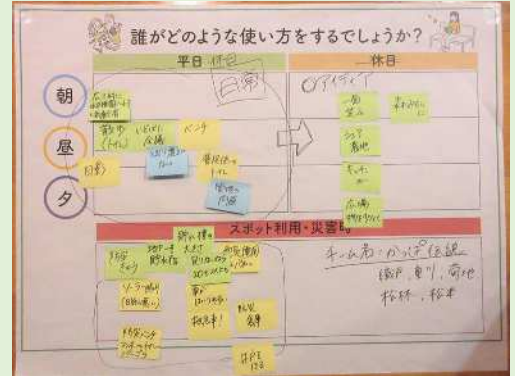
- 平日の朝や午前中は老人会のみなさんが体操をしたり、保育園児に来てもらう。
- 平日は買い物帰りのお母さんなど誰でも休憩に利用できるとよい。
- 若い人がたむろしたり、声や音の大きいのは近所に迷惑になる。
- 休日は気軽にピクニックに来られるような場所に。
- マルシェなどを開催して新鮮な野菜を購入できるとよい。
- キッチンカーが週替わりで来て、昼食を買えるようになるとうい。
- ポンプやスタンドパイプなど防災器具の置き場として使いたい。現在設置してある器具は小さかったり壊れていたり、災害時に機能しない。



誰がいつどのように利用する広場になったらいいでしょうか？

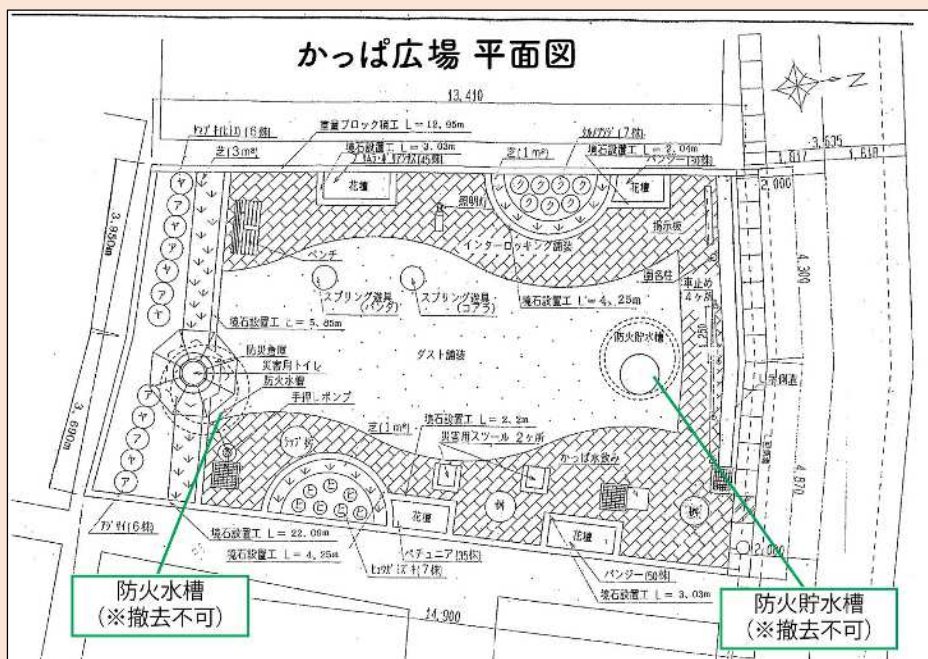
C班：チーム名「かっぱ伝説」

- 面積が小さいため、幼稚園児～小学校低学年くらいの子どものしか使えない。
- 散歩の途中に立ち寄り、井戸端会議を行うくらいがちょうどよいのではないかと。そのためにはベンチやトイレ、日影があると良い。
- あまり広さがないため、公園というよりは道の延長線上の空間として考える方がよいのではないかと。
- 木陰があると休憩しやすいため、森みたいにするのはどうか。
- 防災機能として、防災ベンチ、マンホールトイレ、防災倉庫、パーゴラ等が考えられる。
- 志茂・岩淵は昔かっぱを助けたことにより、水害に遭わないという伝説があるらしい。このストーリーは活用していきたい。



かっぱ広場 平面図

ワークショップでは以下の図面を用いて意見交換を行いました。



岩淵町まちづくり協議会第五回定例会について

第五回定例会を下記のとおり開催いたします。かっぱ広場のリニューアルの内容について具体的な話し合いをします。お時間にご都合のつく方は是非ご参加ください。

日時 令和4年 11月 8日（火） 19:00～

会場 北区立岩淵小学校体育館（北区岩淵町6-6）

内容 かっぱ広場のリニューアルの内容についてなど
※グループに分かれてワークショップを行います

持ち物 上履き・外靴を入れる袋・筆記用具・マスク



新型コロナウイルス感染症の対応について



感染予防のため、マスクを必ず着用の上お越しください



発熱や咳など、風邪の症状がある場合は参加をご遠慮ください



感染症対策のため、検温や消毒、連絡先などの確認にご協力をお願いします

★岩淵町まちづくり協議会に関するお問い合わせは下記連絡先まで★

北区防災まちづくり担当課 担当：大谷、丸山、丸本

【TEL】 03-3908-9162 【E-MAIL】 bomachi-ka@city.kita.lg.jp